高齢者支援

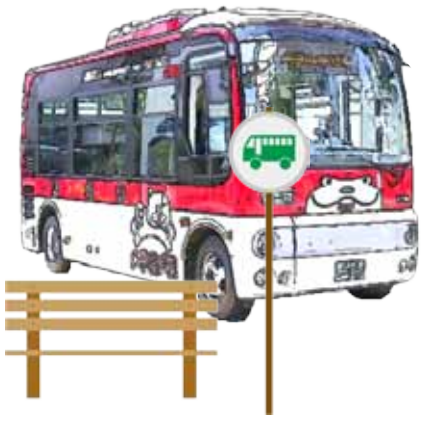
ハチ公バスのバス停ベンチについて

質問 ハチ公バスは、高齢者が利用することが多く、バス停にベンチがあるとありがたいとのご意見をいただいております。

高齢者や体力に制限のある方々が待ち時間を少しでも快適に過ごせるよう、ベンチが置けるところからの順次の設置をぜひお願いしたいと思います。

答弁 （区長）議員ご提案のバス停へのベンチの設置は高齢者だけでなく、より多くの区民にとって、ハチ公バスが利用しやすくなると考えます。

バス停の周辺状況や利用者の動向を把握するとともに、歩道幅員の確保やベンチの維持管理などの課題抽出を行いながら、バス停ベンチの設置の可能性について確認してまいります。その上で、ハチ公バス運行事業者とも協議を進めるなど、様々な角度から具体的に検討してまいります。



健康

更年期障害へのサポートについて

質問 多くの女性が経験をする更年期障害について質問いたします。人それぞれに症状や重さなどが違うのが更年期の症状です。

更年期障害に悩む区民が相談のできる専用の窓口を作っていただくことを提案いたします。

また、区として現在行ってくださっている「健康づくり講演会」に更年期についての専門医師によるセミナーをぜひ取り入れていただきたいと提案します。

答弁 （区長）直ちに専用の窓口を設置することは専門の医師を手配する必要がある等の課題があり、まずは議員のご提案のとおり、保健所の「健康づくり講演会」を活用した専門医師による更年期障害を主題としたセミナーを開催することを検討いたします。

乳がん患者への取り組みについて

質問 乳がん経験者、また治療中の方々へ、河津や二の平などの区の施設の温泉を、年に一度ピンクリボン強化月間の10月に、乳がんを経験され方とそのご家族のみが利用できる日を作っていただくことを提案いたします。

手術跡などを気にせず、広い入浴施設で入浴を楽しんでもらうイベントは、兵庫県尼崎市の銭湯で「乙女温泉」との名前で開かれています。

渋谷区としてピンクリボン月間への具体的な取り組みを推進していただき、乳がん予防への啓発運動などのコミュニケーションをとれる場へと発展していくことを希望いたします。

答弁 （区長）ご提案のがん患者が優先的に利用できるサービスの提供等について十分検討、工夫を重ねていきます。

喫煙問題について

質問 喫煙ができない会社や飲食店も多くなり、公園やビルの私有地など、多くの人が利用する場所での喫煙が多くなっています。

渋谷区が行っている助成金を利用しての公衆喫煙所を設けていただいているのは、区内で2件しかないのが現状です。

民間企業に使っていただきやすい助成の内容をぜひ検討し、公園や路上での喫煙が減る対策を今後も進めていただき、喫煙ルールが守れる渋谷区を目指すべきだと考えます。

答弁 （区長）昨年4月より、設置費について、同一年度内に2か所設置する積極的な取組には、一件当たり150万円、合計300万円の額を上乗せ助成する制度に改善しました。

当面、利用状況の変化を見守りつつ、今後は職員による販売店への訪問などを強化することによって、制度のPRにも努め、活用を促してまいります。

教育

英検検定料補助について

質問 日本英語検定協会は、「読む、書く、話す、聞く」の4技能を重視する流れに応え、4級、5級にスピーキングテストを導入しました。

保護者の方々からは、4技能を含めた従来の英検受験を希望されるご意見を伺っております。

こうした現状から、受験料が年々上がってきていることもあり、受験の金銭的負担を軽減するため、受験料の補助を行ってはどうでしょうか。

答弁 （教育長）英検検定料補助につきましては、実施している英検ーBA、GTECの取組状況や生徒及び保護者からの要望を踏まえ検討してまいります。

ひとり一人を大切に、皆様の声を区政に活かします。

―― 区政に対するご要望、お困りごと、お気軽にご相談ください ――

渋谷区議会議員　近藤じゅん子

●総務委員会
●自治権確立特別委員会 副委員長

渋谷区議会公明党控室
TEL. 03-3463-1036　FAX. 03-5458-4962
携帯 090-2221-7507

ホームページ　Twitter　Facebook